

令和4年度第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング 議事要旨

日 時：令和5年2月22日(水)16:00～17:00
場 所：ZOOMによるWeb会議

出席者13名：足立源樹（那覇市立病院）、中村清哉（琉大病院）、三浦耕子（県立中部病院）、朝川恵利（県立宮古病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、久志一朗（沖縄病院）、新里誠一郎（浦添総合病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、西原実（ハートライフ病院）、林正樹（中頭病院）、友利健彦（沖縄赤十字病院）、神山佳之（南部医療センター・こども医療センター）、増田昌人（琉大病院）

欠席者2名：酒井達也（県立八重山病院）、新屋洋平（西崎病院）

陪席者1名：三井清美（琉大病院）

報告事項

1. 令和4年度 第3回 緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨について

資料1に基づき、令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨が承認された。

2. 令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング委員名簿一覧について

資料2に基づき、令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング委員名簿一覧が承認された。

3. 令和4年度緩和ケア研修会の報告について

(1) 沖縄県立中部病院・沖縄県立八重山病院 共催 【第4回 2022年10月22日(土)】

(3) 沖縄県立中部病院・沖縄県立宮古病院 共催 【第6回 2022年12月10日(土)】

資料3-1、資料3-3に基づき、三浦委員より報告があった。参加者は両日ともほぼ同人数、主に2～4年目の研修医が参加されたとのこと。印象的だったのはロールプレイはよくできていたことと、「使いたいスキル」で「沈黙」という回答が多く、「沈黙」のありがたさを皆さんわかった様でよかったとのこと。また、療養場所の選択と地域連携で社会医療提供のシステムがまだわからず、なかなか話が進んでいかないようだったので、研修医の先生方に対しては患者さんの生活を考えるのは難しいのかなと思ったとのこと。

野里委員より、ロールプレイで沈黙というスキルという話があったが、北部地区医師会病院での反省会の時に、7分間の告知でさらに沈黙のスキルを使うのは現実的ではないのではという意見がでたが、三浦先生のご意見を伺いたいと質問があった。三浦委員より、実際にできていたかはわからないが、それぞれの立場になり、立場の違いを感じる事が目的なので、「やってみる」のが大事だと思っていると回答があった。

笹良委員より、キーワードとして「沈黙」が入ったのは評価すべきと思う。いったん立ち止まり、すぐ説明しないで聞こうというのが大事だということを学んだのであればよかったと意見があった。

(2) 北部地区医師会病院【第5回 2022年11月27日(日)】

資料3-2に基づき、野里委員より報告があった。「1日では詰め込みすぎ」、「時間を短くしてほしい」という意見があったため、間延びすることを反省し、今回は入れ替わりを早めにした、受講生にだらだらしたような印象を持たせないように心掛けたいと報告があった。

(4) 友愛医療センター 【第5回 2023年1月14日(土)】

資料3-4に基づき、笹良委員より報告があった。前回はオンラインだったが、今回はリアル開催となった。リアル開催をしたことがないスタッフが多かったので準備が恐る恐るだったり、笹良委員本人が入院してしまったため企画責任者を変更するようなアクシデントがあったりした。プログラムはがん患者さんへの支援のところを初めの方へ持ってきてモチベーションを上げ、e-learningの復習のところに放射線・精神科の先生の講義や薬物療法の講義など詳しくお話ししていただいた。意見は概ね良好なものが多かった。集合研修で質問や感想を聞いてもあまり手が上がらず、前回チャットで感想を聞いた時の方がレスポンスがよかったと報告があった。

足立委員より、e-learningの復習では通常でも時間がかかると思うが、講師を多くしたことで大変だったのではと質問があり、笹良委員より、事前に間違いが多かったところのみ講義を行い、正答率が高いところは流すようにした。また、ほかの講義等の時間配分も変更して調整したと回答があった。

(5) 中頭病院 【第6回 2023年1月22日(日)】

資料3-5に基づき、林委員より報告があった。2年目の研修医が主な受講者だった。中部病院から2名来ていただいて、活発に議論できたかと思う。大きな問題なく、時間通りに開催できたと報告があった。

4. 第4回日本緩和医療学会九州支部学術大会について

笹良委員より、日本緩和医療学会九州支部学術大会についてホームページの共有を行い報告があった。11月26(土)、大分市「J:COMホルトホール大分」にてハイブリッド形式で開催された。現地参加が非常に少なかったが、赤字にはならなかったと聞いている。ハウリングなど音声の問題があったことと、事務局の方たちの残業が多かったのが反省点に上がっていたとのこと。来年度は11月3日(金・祝)に鹿児島にて開催、開催方法は基本現地開催、プラス、オンデマンドまたはハイブリッド開催になると思うとのこと。またご協力お願いしますと依頼があった。

5. 令和4年度患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)開催について

笹良委員より、資料4に基づき報告があった。今年度も昨年に引き続きWEBで、九州・沖縄地区は10月23日(日)に、参加者100名程で開催された。来年以降の開催方法についてはWEB予定だが、夏ごろに決定するとのこと。

また、現在、神戸大学が厚生労働省からの委託により全国で開催しているが、数年後には、各都道府県に委託することになっている。そのため、E-FIELDの指導者研修会と指導者フォローアップ研修会を開催しファシリテーターを育成することになっており、次世代の若手の先生方への受講をお願いしたいと依頼があった。

6. 第5回日本GRACE研究会年次大会IN沖縄 について

笹良委員より、資料5に基づき第5回日本GRACE研究会年次大会について現地参加50名、ハイブリッド開催を行ったと報告があった。GRACE研究会のコアメンバーの方が研修会のマネジメントのプロフェッショナルの方が多く、スムーズにハイブリッド開催・グループディスカッション等交えながら開催できたとのことだった。

7. 「緩和ケアおよび精神腫瘍学 指導者研修会」開催について

増田委員より、資料6に基づき報告があった。琉大からは身体1名、精神1名受講していただいた。ほかの病院でも現在の受講者の状況把握と後継者の育成の依頼があった。

笹良委員より、事務局側の育成もお願いしたいと依頼があった。

8. その他

特になし

協議事項

1. 令和4年度 緩和ケア研修会の開催について

新里委員と久志委員より、それぞれの病院では開催なしと回答があり、今年度のすべての病院での開催は終了となった。笹良委員より、拠点以外の病院で研修医の受講状況について質問があり、西原委員より、2年目までには受講させるようにしていると回答があった。足立委員より、那覇市立病院でもほかの病院から受け入れているので来年度以降なるべく多くの研修医が受講できるように開催していきたいと回答があった。

2. 令和5年度 緩和ケア研修会の開催について

院内調整はまだだが、南部医療センター・こども医療センターは10月7日(土)を予定していると神山委員より報告があった。

中村委員より、琉大病院は参加数を増やしたいということで今年度もWEB開催を行うと報告があった。

足立委員より、那覇市立病院も9月開催を予定しているので、琉大と被らないように開催したいと思っていると報告があった。決まり次第、事務局の方へご連絡くださいと依頼があった。

3. 令和5年度 WG長、副WG長の選出について

三浦委員より、次年度から安座間由美子先生へ変更になると報告があった。

足立委員より、次年度のワーキング長が三浦委員の予定であったが、安座間先生へお願いしてもよいのかと質問があり、三浦委員より、次年度の1回目に安座間先生へ進行の方法などをお見せいただき、ご説明いただければ2回目以降は可能かと思うと回答があり、1～2回目は引き続き足立委員が司会を行うこととなった。

4. WG委員について

増田委員より、ほかに委員へ加入した方がよい方はいらっしゃるか、と質問があり、足立委員より、沖縄県の方が一人いらっしゃればよいかと思うと意見があった。

5. 院内向けの研修会について

増田委員より、資料9について、拠点病院の方のみではあるが、緩和ケア研修会のみではなく、ほかの研修についても抜粋しているので、確認をお願いしますと依頼があった。

また、アピアランスケアについての公募に応募しているので、通ったら、医療者向けと一般市民向けの研修会を琉大病院で開催したいと思っていると報告があった。

6. 次回令和4年度第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキングの日程について
2023年5月頃の予定でがんセンターにてスケジュール調整することとなった。

7. その他

笹良委員より、4月15日(金)～16日(日)に開催される「GRACEプログラムin京都」についての紹介があった。

<https://gracejapan.org/category/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B/>

以上

令和4年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和5年3月22日(水) 16:05 ~16:50

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 10 名：笹良剛史（豊見城中央病院）、屋良尚美（県立中部病院）、中村清哉（琉大病院）、中島信久（琉大病院）、安次富直美（琉大病院）、足立源樹（那覇市立病院）、三浦耕子（県立中部病院）、朝川恵利（宮古病院）名嘉眞久美（がん患者会連合会）、増田昌人（琉大病院）

欠席者 3 名：野里栄治（北部地区医師会病院）、酒井達也（八重山病院）、栄昌美（沖縄県健康長寿課）

陪席者 3 名：安座間由美子(中部病院)、有賀拓郎（琉大病院）、三井清美(琉大病院)

報告事項

1. 令和4年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があった。

屋良委員より、協議事項3の「都道府県がん診療拠点病院連絡協議会」のアンケートの件と、協議事項5.その他の訂正後の令和3年第5回緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキングの議事要旨の報告について質問があり、増田委員より、協議事項3についてはまだ進んでおらず、その他の訂正については報告事項の最後に資料を用意しますと回答があった。

2. 令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料2に基づき、各委員の名簿について報告があった。来年度の研修ワーキングについて、三浦委員が安座間先生へ交代になるとのことだった。

3. 令和4年度 緩和ケア研修会開催日程一覧表について

資料3に基づき、緩和ケア研修会開催日程の報告があった。

4. 令和4年度 緩和ケア研修会の報告書について

①笹良委員より、資料4-1に基づき、北部地区医師会病院(第5回11月27日開催)について報告があった。

②安座間先生より、資料4-2に基づき、沖縄県立中部病院・宮古病院(第6回12月10日開催)について報告があった。感染対策を取りながら開催し、正答率が低かった箇所と鎮痛補助薬についての資料を後日配布したとのことだった。

③笹良委員より、資料4-3に基づき、友愛医療センター(第7回1月14日開催)について報告があった。直前に私が病休となり、急遽企画責任者の変更があったが、鎮痛補助薬や放射線の講義等、定型的なものに専門的な講義や当院での行っている事などを追加し、「e-learning 復習・質問」の講義について質疑応答の部分の幅を広げたとのことだった。

④笹良委員より、資料4-4に基づき、中頭病院(第8回1月22日開催)について報告があった。

⑤笹良委員より、資料4-5に基づき、ハートライフ病院(第9回2月18日開催)について報告があった。

5. 令和5年度 緩和ケア研修会開催日程一覧表について

資料5に基づき、緩和ケア研修会開催日程の報告があった。友愛医療センターは1月の第2

週を検討しているとのことだった。

中村委員より、琉球大学病院についてはWEBで9月3日(日)に決定したと報告があった。

6. 令和4年度 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)について

資料6に基づき、今年度のE-FIELD開催について笹良委員より報告があった。今年は木澤先生が異動された先の筑波大学主幹で開催された。九州・沖縄地区の病院向けの研修会については10月23日に、在宅向けは12月18日に開催され、希望者全てが受講しているとのことだった。今回はプログラムの内容を改定し、シンプルにしたものとなっている。来年度の募集については夏予定とのことだった。

また、E-FIELDに参加された方に対して、年に一度指導者研修会を開催し、ファシリテーターや講師を育成し、その後、事業を都道府県へおろすような形で進んでいると報告があった。今後緩和ケア・在宅ケアを担っている、意思決定にかかわる指導的な立場になる多職種の皆様へ研修に参加・指導者研修へ行っていただくことを促進していただきたいと指導者研修会の中で話があったとのことだった。

以降、インターネットの回線が途切れてしまったため中止、日程調整を改めて行うこととなった。

以上

第4回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨

日 時：令和5年3月29日（水）16：35 ～ 17：35

場 所：ZOOM（WEB会議）

出席者：8名 宮城愛子（訪問看護ステーションアレグリア）、喜納美津男（きなクリニック）、
東恩納貴子（那覇市立病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、
嶺井朝美（北部地区医師会病院）、高江洲あやこ（那覇市医師会）、
仲門文子（沖縄県介護支援専門員協会）、増田昌人（琉大病院）

欠席者：8名 金城美奈子（宮古病院）、金城隆展（琉大病院）、屋比久倫子（八重山病院）、
荷川取尚樹（花あかり合資会社）、長野宏昭（中部病院）、新屋洋平（西崎病院）、
徳盛裕元（すまいるサポート株式会社）、崎辰子（那覇市役所）

陪席者：1名 玉城由奈（琉大病院）

報告事項

1. 令和4年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨

宮城委員より、資料1に基づき、令和4年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨の報告があった。意見交換会の中身について、2/16に出席者7名で議論し、病院対在宅の二項対立ではなく、顔合わせ会のような気軽な感じで仲間のような関係を築けるとよいのではないかと意見があった。一度だけではなく継続して行うことも大切なので、次年度から3か月に1回程度、意見公開会を開催してはどうかと話があった。

2. 令和4年度 第3回、第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨

増田委員より、資料2に基づき、令和4年度 第3回、第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨の報告があった。

3. 令和4年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

笹良委員より、資料3に基づき、令和4年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨の報告があった。

4. 令和4年度 緩和ケア在宅医療部会/在宅WG/研修WG/ 委員名簿一覧

宮城委員より、資料4に基づき、令和4年度 緩和ケア在宅医療部会/在宅WG/研修WG 委員名簿一覧の報告があった。今年度、在宅WGでは、新屋先生、仲門さん、高江洲さん、崎さんの4名が新メンバーに加わり、計16名と報告があった。

5. 2022年度 緩和ケア研修会開催一覧について

増田委員より、資料5に基づき、2022年度 緩和ケア研修会開催一覧についての報告があった。

6. 2023 年度 緩和ケア研修会開催予定について

増田委員より、資料 6 に基づき報告があった。一覧の医療機関は開催実績がある病院を掲載しているので、全病院で今年開催されるものではないとの事だった。現在、9 月 3 日(日)に琉球大学病院が WEB 開催することが決定、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターは、10 月 7 日(土)の予定で動いていると報告があった。また、那覇市立病院と沖縄県立中部病院では必ず行いますので、それ他の病院はとくに義務ではなく、各病院の実状に合わせて行う病院が増えてくるのではないかとのことだった。

7. 令和 4 年度 患者の意向を新調した意思決定のための研修会(E-FIELD)について

笹良委員より、資料 7 に基づき報告があった。今後、各都道府県で開催できるように、指導者の育成を行う。E-FIELD へ参加された方の中から選び、指導者研修会に参加し、数年後には各都道府県で開催できるようにしていく予定となっている。来年度以降はブロックごとなのか、沖縄県で開催されるのか、また、本土からの支援があるのかによってやり方は変わっていくと思うが、その時はここにいるメンバーがファシリテーターになると想定しておく必要がある。今後、国の方針や筑波大学の方向性の指針がありましたら、それに従っていきたい、とのことだった。

8. 第 5 回日本 GRACE 研究会年次大会 IN 沖縄について

笹良委員より、第 5 回本 GRACE 研究会年次大会 IN 沖縄が 12 月 17 日(土)・18 日(日)に開催され、アメリカの先生方とハイブリット開催ができた成功例に終わったと報告があった。コミュニケーションとも違うベーシックな心理社会教育や対人コミュニケーション教育が合わさったようなスピリチュアルケアを学ぶ機会も今後行っていきたいとのことだった。また、4 月 15 日(土)~4 月 16 日(日)に京都にて、ジョアン・ハリファックスさん達が来日し全国的な研修会がオンライン及び、リアルタイムにて開催されるので後日、共有しますとのことだった。

https://gracejapan.org/2023/01/31/grace_kyoto_2023_online/

9. リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ 2022 について

笹良委員より、リレー・フォー・ライフ・ジャパンおきなわ 2022 について報告があった。この 3 年間、コロナ渦のためオンラインでの開催を行ってきたが、今年は 11 月半ばの土・日にリアルタイムで浦添てだこ広場にて開催する予定になっていると報告があった。がんサバイバーの方たちとの講演や地域連携の話も出る予定なので、進捗状況をお知らせしていくとのことだった。

10. 令和 3 年度 第 5 回緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨の訂正について

増田委員より、資料 9 に基づき、令和 3 年度 第 5 回緩和ケア在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨の訂正についての報告があった。

11. その他

特になし。

協議事項

1. 今年度の年間活動計画について（意見交換会）

宮城委員より、次年度は意見交換会の開催を予定しており、事前に高江洲さんと喜納線の3名で話し合いを行ったと報告があった。

高江洲委員より、当日資料に基づき、令和5年度『病院従事者と在宅医療従事者の顔合わせ会』の工程表および、ケアカフェの流れ、日程についての説明があった。

宮城委員より、第1回目を7月ごろの開催を予定しており、その前に何度か話し合いが持てれば、とあった。

東恩納委員より、どこでやるのかという具体的な話になった場合、主催する主体はどこなのか。那覇市立病院でというお話がありましたが、その場合、施設を利用するというので、病院の許可などが必要になってくるので、その件について現時点ではお答えはできない、とのことだった。

宮城委員より、実際に開催する際には在宅ワーキングが主体となって行う事での問いかけに、増田委員は承諾した。

宮城委員より、具体的な進行の内容につきましては次回の在宅ワーキングで間にかの問いかけに、増田委員より、4月末くらいにWEBでディスカッションを行った方がよいのではと提案があった。

宮城委員より、本日は提案という事で資料を確認していただき、4月末に一度話し合いを持って具体化していく、となった。

2. 次年度ワーキング長・副ワーキング長の選出について

笹良委員より、在宅医療の連携で県や市などとマネージメントしながらする作業が重要になる事と、意思決定支援でも中心に動いている高江洲さんはどうかと提案があった。特に在宅部門については、がんの医療連携と包括ケアの医療連携のどちらも関わってくるので、喜納先生と高江洲さんが中心となって県の動きと、がん対策の動きの両方見える方がやってもらう方がいいのでは、とのことだった。

高江洲委員へ確認後、ワーキング長を引き受けて頂くことになった。

副ワーキング長は引き続き、喜納委員、東恩納委員となった。

3. 次年度ワーキング委員の選出について

増田委員より、今のメンバーで新たに加わって頂いた方がよろしいメンバーがいれば、推薦をお願いしますと依頼があった。

4. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)について

増田委員より、次回の在宅ワーキングでとの事だった。

5. 来年度の年間活動計画について

6. 在宅緩和コンフォートセットについて

笹良委員より、コロナ渦で在宅のニーズが増えたこともあり若い先生たちが中心に開業しており、訪問看護ステーションもいろんな所が関わっていると報告があった。薬

の選択や使用法などについていろんな流派があり、使える薬局や使えない薬局などがあるとのこと。今後、医師会主導で在宅医療を支援しながら開業医の先生たちの在宅の部分を広げていく活動を行う話が進んでいる。がんの緩和ケアには麻薬が必須になってくるので、麻薬の扱いや鎮痛薬や鎮静薬の即効性でシビアな薬の扱いがあり、そこで倫理的ジレンマが生じてきているような話もいくつかある。ある程度、交通整理をした状態で、この地域ではこういう薬がこの辺りの先生から出て、対応する薬局がどこで、という事がある程度、見える化していきたい。それについてのディスカッションするプラットフォームのようなのを在宅ワーキングで行い、次年度にサブワーキングのようなのを作り、在宅の先生や実働の先生たち、実際に看取りを行う看護ステーションの方との意見交換ができるようにしたい、とのことだった。

増田委員より、コンフォートセットのディスカッションはどこで行われているのか、また、在宅ワーキングでディスカッションする必要があるかという問いかけに、笹良委員より、新屋先生、喜納先生などの在宅医の集まりを4月中に予定を立て、たたき台を作っていき、次年度内には出来るようにしたいと回答があった。

7. 次回の在宅ワーキングの開催日程について(ZOOMによるWEB会議)

第1回 2023年5月31日(水) 16:30~開催で決定した。

8. その他

特になし。

以上